

平成 20 年 9 月 26 日

各 位

東京都千代田区永田町二丁目 11 番 1 号
パシフィックホールディングス株式会社
代 表 取 締 役 社 長 高 塚 優
(コード番号:8902 東証第一部)
問 い 合 せ 先 経 営 企 画 本 部 執 行 役 員 常 務
田 中 賢 一
TEL 03(5251)8525

平成 20 年 11 月 期 (連結・個別) 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 7 月 15 日に公表いたしました平成 20 年 11 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 20 年 11 月 期 業 績 予 想 の 修 正 に つ い て

<連結>

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	286,000	13,000	5,200	△4,600
今 回 修 正 予 想 (B)	191,000	8,000	500	△25,000
増 減 額 (B - A)	△95,000	△5,000	△4,700	△20,400
増 減 率 (%)	△33.2	△38.5	△90.4	—
前 期 実 績 (平 成 19 年 11 月 期)	127,707	26,090	21,110	12,077

<個別>

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	16,800	8,300	14,700	1,500
今 回 修 正 予 想 (B)	5,600	300	6,000	△18,000
増 減 額 (B - A)	△11,200	△8,000	△8,700	△19,500
増 減 率 (%)	△66.7	△96.4	△59.2	—
前 期 実 績 (平 成 19 年 11 月 期)	19,647	13,720	13,502	7,631

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正

当期における不動産投資市場につきましては、サブプライムローン問題に端を発する不動産に対する信用収縮に伴い資金調達環境は更に厳しい状況が続いており、また、不動産価格は価格調整局面が続いております。このようなマーケット環境の中、当社は財務体質の健全性を図るためにバラ

ンスシートにて保有する販売用不動産の圧縮を積極的に行ってまいりました。しかしながら、不動産の流動性は著しく低い水準が続いており、不動産の売却額及び売却損益共に平成 20 年 7 月 15 日に公表した平成 20 年 11 月期通期(連結・個別)の業績予想に対して未達となる見通しとなり、また、将来弊社が購入する予定でありました不動産について、一部購入を見合わせるにより違約金相当額等を損失計上する予定です。また、当該マーケット環境を勘案し、当下期に予定していた不動産投資ファンドの組成を来期に延期する事といたしました。更に、当中間期に減損処理を行った固定資産について、現在のマーケット環境を勘案すると追加的な売却損が出る可能性があることおよび本日発表の「有価証券評価損に関するお知らせ」に記載の通り保有している有価証券について有価証券評価損を 4,100 百万円計上したことにより特別損失が増加する見込みです。

(2) 個別業績予想の修正

当社は連結子会社である不動産投資ビークルの一部に対して匿名組合出資を行っております。当期につきましては、財務体質の健全性を図るために連結子会社である不動産投資ビークルで保有する不動産の売却活動を行ってまいりましたが、不動産の流動性は著しく低い水準であることから不動産の売却額および売却損益が未達となる見通しに伴い、予定しておりました当社出資分に対する配当収益が未達となる見通しです。また、本日発表の「有価証券評価損に関するお知らせ」に記載の通り、保有する有価証券について有価証券評価損を 3,792 百万円計上し、当期純損失となる見込みです。

(注) 当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上